

元気ある開成のまちづくり～地域の財産を捉え考える～

高見公雄

【枠組みと要約】

■ 開成町の着目点

- ・人口増加、元気、豊富な水緑、富士などの眺望。越谷南部地域（レイクタウン）をふと思い出した。

■ 地域の財産から考えるまちづくりのテーマ

(1) テーマを掲げ、そして実行する

- ・「水」と「緑」を掲げ安心している例は多数。要は実行力。
- ・開成町では何をテーマにするか。何といても利便性、そして地域を特徴づける水緑環境では。

(2) 続ける。簡単にあきらめない

- ・せっかくの田園地帯における人工物の汚さに気づくべき。
- ・開成町においても、何となく水と緑が豊かだよね、というレベルではなく圧倒的な水緑環境を目指すとか。

(3) 時々の事情に応じたツギハギはダメ

- ・まちは長く使うもの。
- ・テーマを決めたら、それにこだわり、実行する。障害はいくらでもあり、放り出すのは簡単。
- ・地域のみなさんが「これ！」と決めて、それに拘り、続けていくことが大切です。

【ではどんなところが重要か】

■ 例えば「水緑」

- ・水緑をまちづくりのテーマに掲げる例は日本中にある。というものの水緑が豊富な地区ってそんなにありましたっけ。
- ・この場合は日常の豊富な水、一目で他とは違うねという環境づくり。合わせて水害安全性を合わせ持つ。
- ・緑についても他とは異なる緑量。そして夏木陰で冬明るい落葉樹が好ましいが、メンテナンスは大変。どうするか。



テーマ

(1) テーマを掲げ、そして実行する

(2) 続ける。簡単にあきらめない →放り出すのは簡単

(3) 時々の事情に応じたツギハギはダメ →殆どはこれだが

ではどんなところが重要か ↓

- 例えば「水緑」、「眺望」
- では「賑わい、利便性」
- さらに「街並み」
- そして「交通利便性」



■ 例えば「眺望」

- 富士はチラッと見えるだけだが、明神ヶ岳など背後の山々を見通せる「山当て」なども考慮したら。
- 無論面的に整備するのだから、富士の眺望空間確保は頑張るべき。

■ では「賑わい、利便性」

- 日常の利便施設は近くに欲しい。ただ各業種の成立性を考えると外部からの利用もある程度許容。食品スーパー、医療・福祉系くらいは最低欲しい。

■ さらに「街並み」

- 住宅地の雰囲気を決めるのは、街路樹と住宅による街並みである。
- 電線地中化はマストとして、この地区は余り大きくないため地区全体で「〇〇風」住宅といったことも目指されて良い。放置すると住宅展示場になってしまう。

■ そして「交通利便性」

- 現状のままで十分に交通利便性は高いと思われる。歩行者自転車のための十分な空間確保を目指せば良いのでは。



富士の眺望空間の確保



写真: google



地域のみなさんが「これ！」と決めて、それに拘り、続けていくことが大切です。

都市の中の居場所づくり、参加感

| | |
|---|--|
| <p>北彩都あさひかわ</p> <p>居場所となっている高架下ラッチ外空間</p> | <p>土佐くらしお鉄道中村駅リノベーション</p> <p>2012年度土木学会デザイン賞最優秀賞</p> <p>市民の心地よい居場所になっている</p> |
| <p>福岡市賀園公園</p> <p>西鉄、天神駅隣接である</p> | <p>ATAMI2030 会議</p> <p>自ら参加する「まちづくり」に若者の関心は高い</p> |

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ

Walkable Eye level Diversity Open

歩きたくなる まちに開かれた1階 多様な人の多様な用途、使い方 開かれた空間が心地よい

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出がけくなる、歩きたくなる。

歩行者目線の1階部分等に店舗やラホがあり、ガラス張り中が見えると、人は歩いて楽しくなる。

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

1階 (店舗やオフィス等)

民間空地

街路

街路

公園

出展: 国土交通省資料